

5th
50

歩んできたのは50年
目指す先は無限大

MMEC

証券コード：4971

MEXTAGE

第51期 中間 株主通信

2019年1月1日から2019年6月30日まで

- P.6 ● 会社概要、株式の状況
- P.5 ● 財務指標
- P.4 ● 5Gで変わる未来
- P.3 ● 第2四半期の業績を教えてください
- P.1 ● 今期の業績振り返りと今後の事業戦略



界面価値創造

Creating and Fostering Value
at Various Interfaces

メック株式会社



社長に聞く!

今期の業績振り返りと
今後の事業戦略

代表取締役社長

前田和夫



新製品を市場投入する等 5Gへの対応強化で ビジネス拡大を狙う

スマートフォンや自動車販売の低迷
メモリー需給バランスの悪化
EXEシリーズは堅調
CZシリーズはサーバー向けに
大きく回復

当中間期は、米中貿易摩擦等によるスマートフォンや自動車の販売不振、メモリー需給バランスの悪化等を背景に当社グループの業績も軟調に推移し、売上、利益ともに残念な結果となりました。そのような環境のなかでもスマートフォン用電子基板の小型化・薄型化に寄与する製品「EXEシリーズ」は堅調に推移しました。また、「CZシリーズ」は当中間期後半からサーバー向けの高性能なパッケージ基板を中心に回復しております。今後は次世代通信である5Gのインフラ整備のために基地局やサーバー等の需要が急速に拡大し、当社の業績にも大きく寄与していくものと考えます。

尚、韓国・半導体業界向けの輸出管理強化については、通期見通しの売上に対する影響は軽微であると判断しています。

密着向上剤「CZシリーズ」の 新製品の販売開始

密着向上剤については、5Gの高性能を最大限に引き出すために不可欠な、高性能半導体を搭載するパッケージ基板製造に、当社「CZシリーズ」の新製品を使っていただくことが成長戦略です。新製品の粗化形状は非常に細かく、密着強度の高いことが特徴。お客様からは、非常に良好な評価を得ており、採用も進んでいます。

エッチング剤はスマートフォン分野での シェア拡大を目指す

エッチング剤の成長戦略としては、薄型テレビ以外の分野でのシェア拡大というものです。今のところ「EXEシリーズ」はスマートフォンの大画面化が進行し、液晶のドライバーICを実装するCOFへの採用が拡大しています。この薬品を使用することで、お客様の生産効率向上に貢献することが可能。この分野でのシェアが拡大しつつあります。さらに「EXEシリーズ」は、一部のスマートフォン用HDI基板にも実績があり今後の拡大に大きく期待しています。



2つの戦略で新たな成長に挑む

新たな成長に向けての戦略は大きく2つ。1つ目は、当社の強みの1つである「新製品を中心とした商品力」を最大限に発揮させるため、『製品の開発分野』ならびに『製品の性能調整分野』に人財を投入するということです。2つ目は、製品開発や新ビジネスをつくり出すといった場面で、積極的にIoT、AIを活用するという。IoT、AI用機器の開発を下支えするだけでなく、IoT、AIを活用する視点も持っていたい。そう考え、現在エンジニアの育成に努めているところです。

タイ新子会社、いよいよ完成

東南アジアで最初の拠点であり、唯一の拠点でもあるタイ新子会社は竣工式を終え、2019年9月には製品の製造が可能になる見込みです。

連結配当性向30%を念頭に 配当を実施

配当については従来どおり安定配当を基本としています。配当指標として連結配当性向30%を念頭に考えています。自己株式の取得につきましては、株主の皆様に対する利益還元策の一環として、今後も検討していきます。

最後に株主様へのメッセージ

当中間期の業績は、残念な結果となりました。しかし、当中間期後半に入り「CZシリーズ」が回復しており、後半には5G用サーバーの拡大やスマートフォンの回復等もあり、他の薬品も回復するものと考えております。株主様のご期待に沿うよう全力で取り組んでいく所存であります。今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



→ 詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。
www.mec-co.com/ir/library/

今期のポイント

押さえておきたい当中間期のポイントを3ポイントにまとめています。ぜひ参考にしてください。

- 1 エレクトロニクス業界不振の中でスマートフォン用電子基板の小型／薄型化に寄与する「EXEシリーズ」の需要が堅調に推移
- 2 「CZシリーズ」はサーバー向け等の高性能パッケージ基板用に当中間期後半から回復
- 3 製品開発や新ビジネス創出分野に、IoTやAIを積極的に活用開始

当第2四半期の実績

	前第2四半期 2018年1月1日～ 2018年6月30日	今期 2019年1月1日～ 2019年6月30日	増減
売上高 (百万円)	5,499	4,976	9.5% 減 ↓
営業利益 (百万円)	1,039	610	41.3% 減 ↓
経常利益 (百万円)	1,042	638	38.7% 減 ↓
親会社株主に 帰属する四半期 純利益 (百万円)	889	457	48.6% 減 ↓
1株当たり 四半期純利益(円)	46.39	24.09	48.1% 減 ↓

用語解説

■ COF (Chip On Film)

フィルム状基板に直接半導体チップを搭載する実装技術。

■ IoT (Internet of Things)

あらゆるモノがインターネットにつながり、人々の暮らしや産業を変える仕組み。

■ サブトラクティブ工法

不要な銅をエッチングで除去することにより銅配線パターンを形成する一般的な基板の製造方法。

■ AI (Artificial Intelligence)

人工知能。人間の知的営みをコンピューターに行わせるための技術。

■ HDI (High Density Interconnection) 基板

主に、スマートフォン向けに使用される高密度な電子基板。

業績の推移とあわせて 地域別の販売動向をご紹介します

Q 当第2四半期の事業環境と業績について教えてください。

A スマートフォンと自動車が不振。業績も軟調。

スマートフォン販売が低調に推移し、自動車の販売も不振でした。電子基板・部品業界についても生産量が減少しました。そのような状況の中でも、電子基板の高密度化や技術革新は進行。IoT関連市場や、次世代移動通信システムは商用化に向けた取り組みが活発化しています。また、自動車の自動運転技術開発も進んでいます。これらを背景に、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力。エッチング法で高密度配線パターンを実現する「EXEシリーズ」は薄型テレビを中心とするディスプレイ向け、そしてスマートフォン向けにも普及拡大しており堅調に推移しました。一方、パッケージ基板向け超粗化剤「CZシリーズ」、多層電子基板向け「Vボンドシリーズ」などの販売は低調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は49億76百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は6億10百万円(同41.3%減)、売上高営業利益率は12.3%(同6.6ポイント減)、経常利益は6億38百万円(同38.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億57百万円(同48.6%減)となりました。

Q 製品別の販売状況を教えてください。

A CZ、SF、Vボンドが低調、EXEが堅調でした。

製品別の売上高は、CZシリーズは25億64百万円(前年同期比8.6%減)、薬品売上高に占める割合は52.4%(同0.3ポイント減)でした。SFシリーズは3億50百万円(同24.9%減)、Vボンドシリーズは3億30百万円(同15.7%減)でした。EXEシリーズは6億46百万円(同14.7%増)でした。

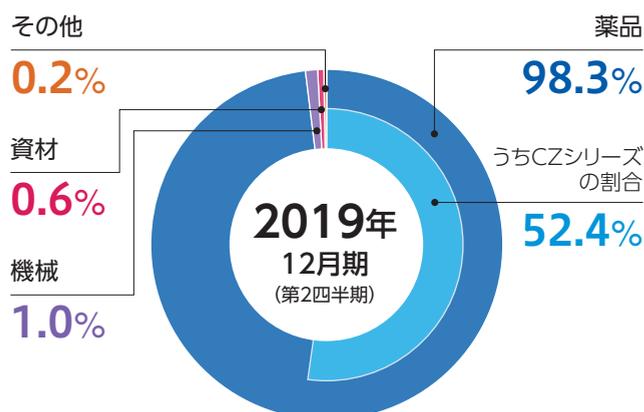
Q 地域別の販売動向はいかがでしたか?

A すべての地域で売上減少となりました。

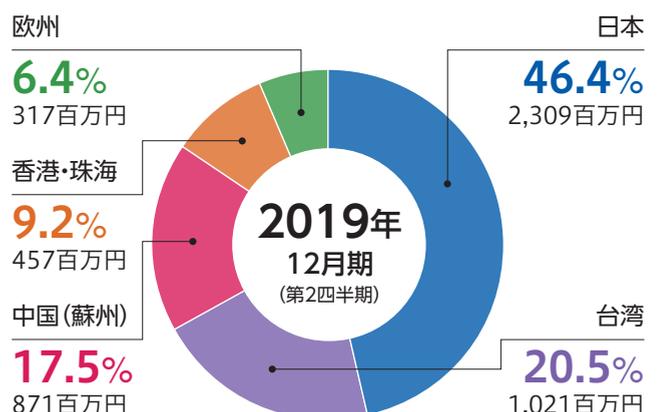
地域別売上高(連結)における海外売上高比率は、54.9%(前年同期比0.1ポイント減)となりました。

セグメント別でも世界的なスマートフォン販売の低調、自動車の販売の不振が影響し、すべての地域で売上が減少しました。

売上高に占める品目別割合(%)



地域セグメント別売上高比率(%) / 売上高(百万円)



5Gで変わる未来

5G (5th Generation / 第5世代移動通信システム)

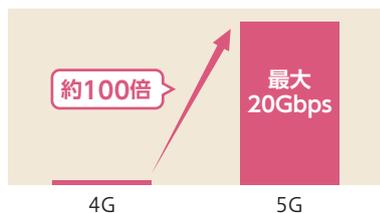
5Gで私たちの暮らし、産業が大きく変わります。

5Gが普及すると、現在スマートフォンなどで使用されている通信システム(4G)から、**3つの大きな変化**が生まれます。

1

超高速

通信速度が現在の**約100倍**
(例えば2時間の映画を3秒でダウンロード)



2

多数同時接続

1つの基地局で**約100個**※の
端末の接続が可能

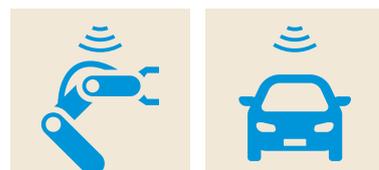


※現時点では数個の接続

3

超低遅延

利用者が遅延を
感じるここのない通信が可能



ロボットの遠隔操作

車の自動運転

5Gが普及することでIoT、自動運転等を整備できる環境が整い、電子基板・部品の飛躍的な増産が見込まれます。メックは、これらを製造する際に使われる薬品を、これまで以上に積極的に開発・製造・販売していくことで、5Gの普及と足並みを揃えながら、さらなる成長を図っていきたくと考えています。

➔ **メックは5Gの普及拡大をサポートし、豊かで快適な社会づくり、暮らしや産業をより便利にする環境づくりなど、「5Gで変わる未来」に貢献していきます。**

5Gで変化が見込まれる分野

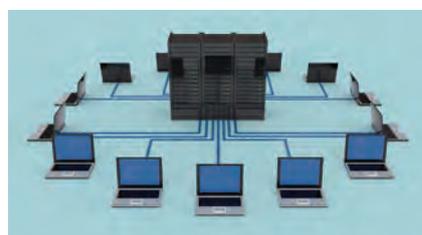
基地局 端末

5Gに対応した
基地局、端末が増加



サーバー

ビッグデータを
AIで分析



活用 事例

新たな価値の創造、
課題解決を実現



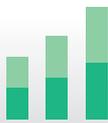
車の自動運転



スマートファクトリー



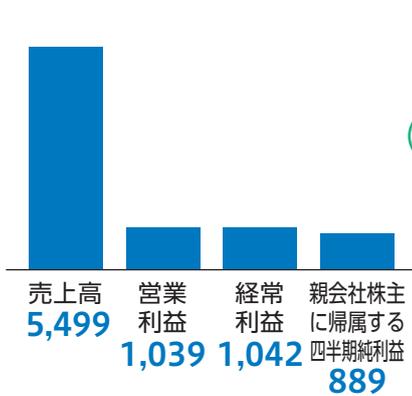
ヘルスケア



連結損益計算書の概要(百万円)

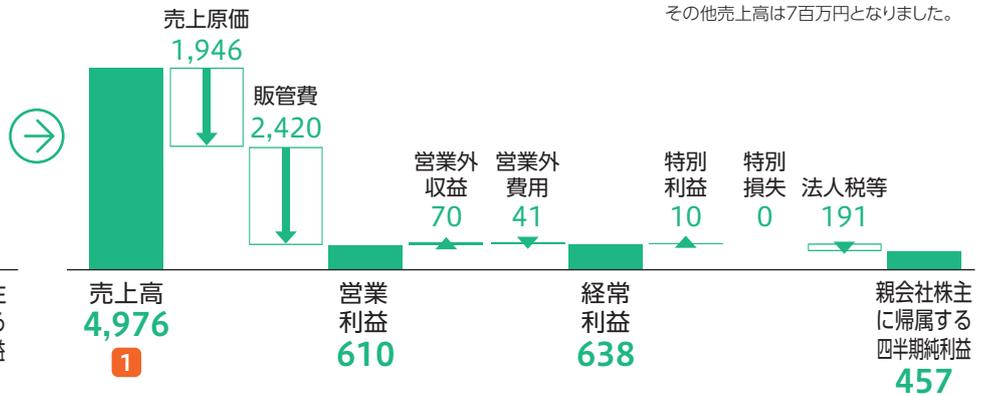
前第2四半期

(2018年1月1日～2018年6月30日)



当第2四半期

(2019年1月1日～2019年6月30日)



1 売上高

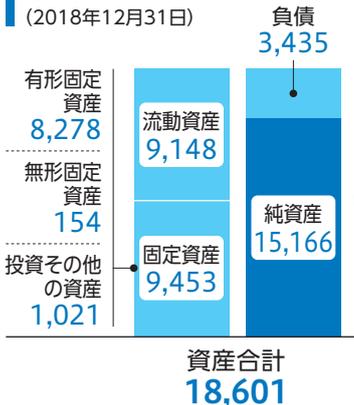
薬品売上高は48億89百万円、機械売上高は48百万円、資材売上高は30百万円、その他売上高は7百万円となりました。

連結貸借対照表の概要(百万円)

*2019年度より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用しています。

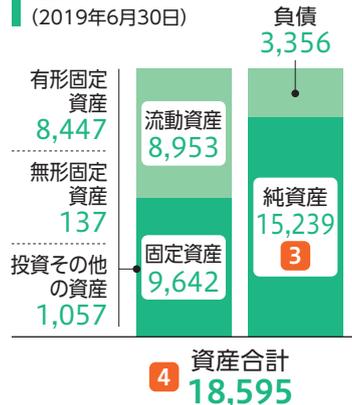
前期末

(2018年12月31日)



当第2四半期

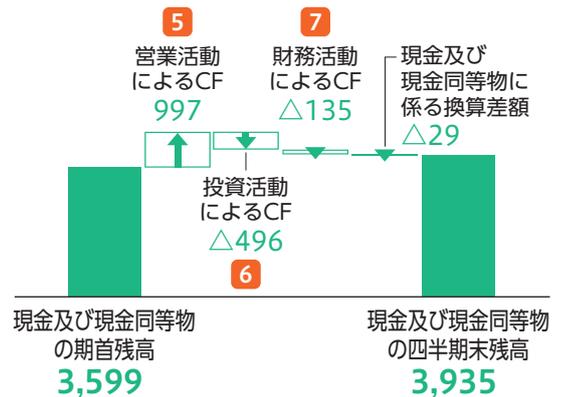
(2019年6月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要(百万円)

当第2四半期

(2019年1月1日～2019年6月30日)



2 負債

負債は短期借入金の増加、尼崎事業所建設資金借入の返済による長期借入金の減少、支払手形及び買掛金が減少したこと等により、前連結会計年度に比べて72百万円増加し、152億39百万円となりました。

3 純資産

純資産は円高による為替換算調整勘定の減少、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べて72百万円増加し、152億39百万円となりました。

4 資産合計

資産合計はタイ王国子会社に係る有形固定資産の増加、商品及び製品、仕掛品などが減少したこと等により、前連結会計年度に比べて5百万円減少し、185億95百万円となりました。

5 営業活動によるCF

営業活動の結果得られた資金は9億97百万円。これは主に税金等調整前四半期純利益が6億48百万円、売上債権の減少が4億51百万円、資金の減少要因として法人税等の支払額が2億34百万円計上されたこと等によるもの。

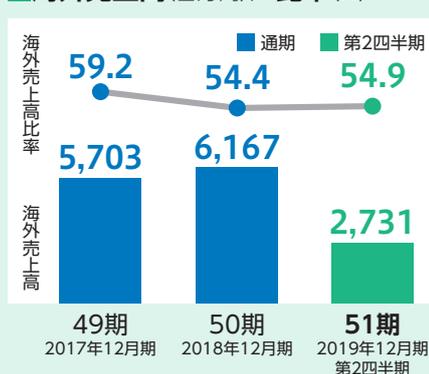
6 投資活動によるCF

投資活動の結果使用した資金は4億96百万円。これは主に有形固定資産の取得による支出が3億91百万円計上されたこと等によるもの。

7 財務活動によるCF

財務活動の結果使用した資金は1億35百万円。これは主に借入金が純額で1億50百万円、配当金の支払いが2億68百万円計上されたことによるもの。

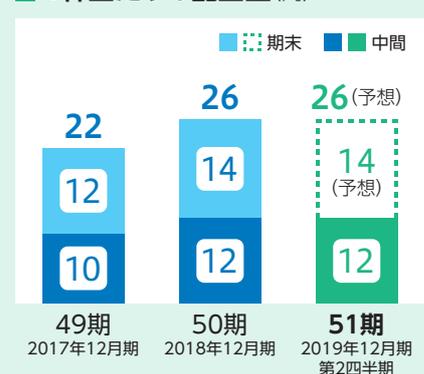
海外売上高(百万円)／比率(%)



研究開発費(百万円)／比率(%)



1株当たりの配当金(円)



会社概要

■ 2019年6月30日現在

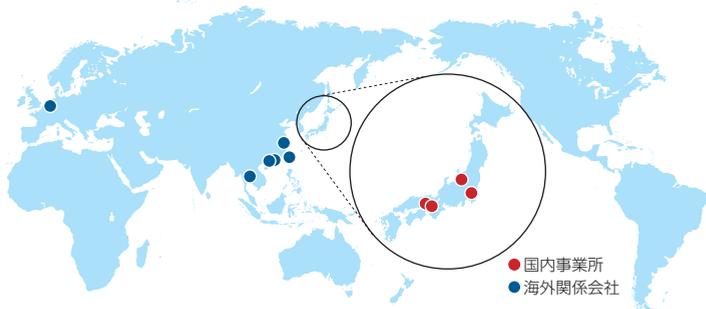


会社概要

商号 メック株式会社
 本社事務所所在地 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
 設立年月日 1969年(昭和44年)5月1日
 資本金 594,142,400円
 事業内容 電子基板・部品製造用薬品の製造販売
 および機械装置、各種資材の販売

取締役および執行役員

代表取締役社長	前田 和夫
取締役専務執行役員	長井 眞
取締役常務執行役員	中川 登志子
取締役(社外)	橋本 薫
取締役 監査等委員会委員長(社外)	佐竹 隆幸
取締役 監査等委員(社外)	田中 明子
取締役 監査等委員(社外)	高尾 光俊
常務執行役員	北村 伸二
執行役員	中村 幸子
執行役員	武村 文夫
執行役員	門林 安津子
執行役員	高垣 秀一
執行役員	住友 貞光



国内事業所

本社・尼崎工場
 〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号

東京営業所
 〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階

長岡工場
 〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36

西宮工場
 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号

海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
 No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli Dist., Taoyuan City 320, Taiwan (R.O.C.)

MEC EUROPE NV.
 Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium

MEC (HONG KONG) LTD.
 No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong

MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.
 530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China

MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.
 31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121, China

MEC SPECIALTY CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.
 31 Moo 1 Rojana Industrial Park T. Banchang, A. Uthai, Ayutthaya 13210.

株式の状況

■ 2019年6月30日現在

株主状況

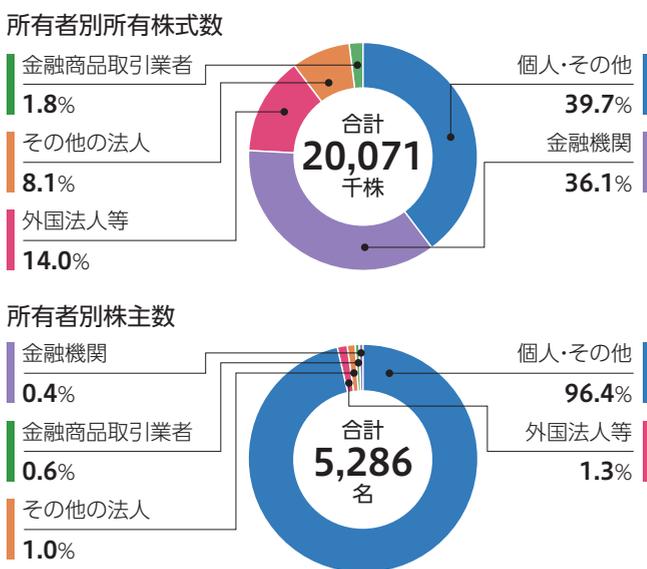
発行済株式総数 **20,071,093 株**
 株主数 **5,286 名**

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,502	18.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,214	6.3
株式会社マエダホールディングス	1,199	6.2
前田耕作	1,005	5.2
前田和夫	726	3.7
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	596	3.1
GOVERNMENT OF NORWAY	568	2.9
野村信託銀行株式会社(投信口)	563	2.9
メック取引先持株会	539	2.8
第一生命保険株式会社	429	2.2

※当社は自己株式を895千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※持株比率は、小数点第二位を切り捨てて表記しております。

株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式895千株を含んでおります。
 ※各比率は、小数点第二位を切り捨てて表記しております。



メック株式会社

本社事務所 / 〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号
TEL. 06-6401-8160 FAX. 06-6401-8165

URL <https://www.mec-co.com/>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先※までご連絡ください。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株式名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先※	TEL. 0120-782-031 (通話料無料)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.mec-co.com/ir/denshi/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待情報

保有株式数	優待内容
1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

※毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様を対象といたします。

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆様にそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。

ご希望の株主様には、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、RIMSNET (<https://rims.tr.mufg.jp/>)から、簡単にご登録いただけます(無料)。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様とのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めていきたいと考えています。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

ホームページのご紹介 <https://www.mec-co.com/>

当社のホームページではプレスリリース、株主通信、コーポレート・ガバナンス報告書 他各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



株価の推移 (2018年8月~2019年7月)

(単位:円)

